



## 鳥取県と海外をつなぐ懸け橋として

## 鳥取県交流人口拡大本部観光交流局交流推進課

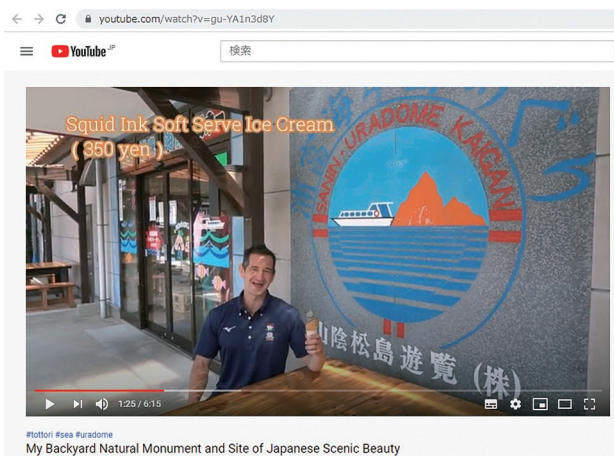
### はじめに

鳥取県では中国、韓国、台湾、ロシア、モンゴル、アメリカ、ジャマイカを中心とした国や地域との交流を進め、地域住民同士の相互理解や、人・物の流れを新たに生み出すことによる地域の活性化を目指しています。こうしたさまざまな国や地域とのつながりを保っていく上で、国際交流員（CIR）は、通訳や翻訳を始め、海外向けの情報発信や地域の国際文化講座の講師など多岐にわたる業務を通じて、極めて重要な役割を担っています。

### 地域を活かす「CIRの視点」

近年は外国人としてのCIRの視点を活かし、それぞれの国や地域の特色・嗜好に応じて、県内の魅力的な観光資源について、YouTubeやSNSを活用し、効果的に情報発信しています。

YouTubeでは本年6月より「国際交流員がオススメする鳥取県内の観光スポット紹介」と題し、インバウンド向けに県内観光PR動画を作成し、公開しています。既存の映像に外国語訳をつけるのではなく、各CIRが企画から携わることで、外国人観光客の嗜好に合致した特色のある動画となり好評を得ています。



PR動画でイカ墨ソフトを紹介するCIR



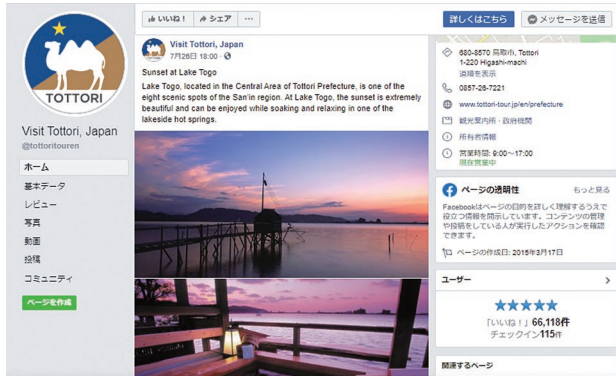
浦富（うらどめ）海岸でPR動画を撮影するCIR

また、本年5月には県内観光業界を対象にCIRが講師を務め、外国人観光客の受入れに向けて「あったら喜ばれるおもてなし紹介」、「外国人観光客の困りごと・対処方法」、「簡単なあいさつ練習」等をテーマにした「インバウンドおもてなし研修」をYouTubeでライブ配信しました（後日HPに動画公開）。全6回に亘って外国人観光客の特徴について各国CIRが具体的に説明を行い、一部の県内宿泊施設では「接客等に役立つ」と好評で、配信に合わせて従業員皆様でご視聴いただくなどして活用されました。本事業は、新型コロナウイルスによる休業期間中の従業員に対する研修という現場のニーズに合致し、合計2,000回程度の視聴をいただき、対面式の研修に比べ、より幅広く外国人観光客への接遇に関する情報発信ができました。



CIRによる「インバウンドおもてなし研修」

SNS では Facebook や Instagram を中心にさまざまな媒体で情報発信をしています。ここでも CIR が観光地等に取材に行き、日本人スタッフでは気づけなかった魅力・資源を CIR ならではの視点で見つけ出し、投稿に反映しています。CIR の積極的な関与により、海外向けの全 SNS のフォロワー数は約 34 万人にもなり、効果を実感しています。



CIR が運営する英語版 Facebook 「Visit Tottori, Japan」

- 国際交流員がオススメする鳥取県内の観光スポット紹介  
<https://www.pref.tottori.lg.jp/292248.htm>
- インバウンドおもてなし研修  
<https://www.pref.tottori.lg.jp/291669.htm>
- 各国向けソーシャルメディア一覧  
<https://www.pref.tottori.lg.jp/288422.htm>

## 地域に海外とつながる機会を

海外へ鳥取県の魅力を発信する一方、県民へ自国の文化を紹介することも CIR の業務のひとつです。

鳥取県では、市町村、学校、非営利の民間団体等が実施する国際交流活動の支援を目的に、CIR を派遣しています。活動内容は、例えば小学校における韓国の遊び・文化体験の講師、地区公民館におけるロシア料理教室の講師、警察学校での新人警官のための英会話指導など多種多様ですが、CIR はそれぞれの知識や経験を活かし、活動に参加する方々や派遣先からのニーズに合った対応を行うことで、より良い国際交流につながるよう尽力しています。実際に、派遣終了後には「外国人に対する関わり方を再考する良い機会となった」、「交流を通して子どもたちの外国への興味関心が高まった」など多くの好評の声をいただいております。1 回に留まらず、リピーターとして依頼をされる団体もあります。

年間を通じてさまざまな派遣依頼がありますが、特に



地域のイベントで子どもたちとお菓子づくりをする CIR

多いのは学校や公民館での自国文化などの紹介です。学校や公民館での活動は、CIR にとって県民と直接交流ができ、地域と密接につながる貴重な機会です。同時に県民の異文化理解の促進という観点からも、とても重要な活動となっています。

鳥取県の外国人住民数は、直近の統計調査（2019 年 12 月末時点）（鳥取県交流推進課調べ）では 4,979 人で 1994 年の統計開始以来最多となっており、ここ数年増加しています。今後、地域における多文化共生を推進していくためにも、草の根の国際交流を通して県民の異文化理解を促進する CIR に、一層の期待が寄せられています。



小学校で韓国料理を教える CIR

## おわりに

昨今は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響によって、人々の往来が制限され、直接顔を合わせて交流することが困難な状況にあります。しかし、このような状況下でも、鳥取県は、海外との懸け橋として活躍する CIR とともに、これまで培ってきた各国・地域との確かな交流の輪を絶やすことなく紡いでまいります。